

つたです。

空港でケイリンに「また、来年会いましょう。」と言って別れました。ケイリンが、来年ホームステイに来るのがとても楽しみです。

私は今回の派遣で、国境を越えた家族ができたことをとても嬉しく思います。

高梁中学校2年 岡本 捺希

デイトン空港に着いた時、不安と期待でいっぱいだった私をホストファミリーの人は温かく迎えてくれ、歓迎してくれました。最初は、聞き返さないと何を言っているのか分かりませんでした。何日かたつと英語にも慣れてきて身振り手振りでも伝わるようになりました。

トロイでは、9時頃になってやっと暗くなったり、庭がすくく広がったり、びつくりすることがたくさんありました。自分が知らない世界を見るのはすくくおもしろいです。

ホームステイ中の一番の思い出は、みんなが私の誕生日を祝ってくれたことです。その日の夕食はみんなと日本食レストランに行きました。夕食会の最後には、電気が消え



てパーティーケーキが運ばれてきました。みんなはバースデーソングを歌ってくれ、プレゼントももらいました。びつくりしてすぐには「ありがとう」が言えないくらいでした。

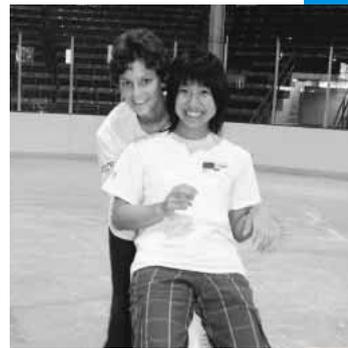
その他にも、マシユマロを焼いて食べたり、ピリヤードをしたり、バイクに乗せてもらったり、充実した7日間を過ごすことができました。ホストファミリーのために日本料理を作りました。どれもおいしいと食べてくれました。特に肉じゃがは好評でした。

貴重な体験や楽しい思い出がたくさんできました。この体験をみんなに伝えていき、国際交流に興味を持ってもらいたいです。今年の夏は、絶対に忘れられない最高の夏休みになりました。

高梁東中学校3年 鍋島 知子

私は去年ホストファミリーとして一人の女の子の受け入れをして、一年後の夏休みにトロイでまた会う約束をしていました。そして8月3日、私たちは約束通り再会しました。会った瞬間、涙が止まりませんでした。今まで生きてきた中で一番幸せな瞬間でした。

2日目からは学校を案内してもらったりアイススケートやプールで遊びました。休日には大きなショッピングセンターや日本料理店、ゴルフにも連れて行ってくれました。そこで体験したこと全てが良い思い出ばかりです。私も日本料理を作ったりピアノを弾いてあげました。そんなに大したことではないのにすくく



喜んでくれて本当に来てよかったと思います。一番印象に残っているのは最後のお別れパーティーの時にみんなと一緒に「やとさ」や向こうの踊りを踊った事です。踊っている時はみんな最高の笑顔をしていました。

また、家族との会話の中で今でも強く心に残っている言葉があります。日本からのお土産を渡した時に「たっさんのお土産をありがとう。でもあなたが一番の贈り物よ」と言ってくれた事、お別れパーティーで「いつでもあなたのことを温かく迎えてくれる家族がもう一つできた事を忘れないで」と言ってくれた事、他にもたっさんの温かい言葉をかけてくれました。派遣団の一員としてトロイに来れた事、この家にホームステイできた事を心から幸せに思います。短い期間でしたが、今回の体験事は私にたっさんの新しい発見と感動を与えてくれました。そして、もっともっとトロイと高梁の交流が深まることを願っています。

高梁東中学校3年 肥田 都子

私がホームステイした家族は、パパ、ママ、ホストチューデントのステファニー、妹のアンドレアの4人

族でした。トロイについて初めて会った時は緊張してしまい、話しかけてくれるまで待っていました。でも家に連れて行ってもらってからは、折り紙をしました。

ステイ中はいろんな所へ連れて行ってもらいました。2時間くらいかけて水族館へ行ったり、パレードを見に行ったり、近くのスーパーマーケットに行ったりしました。ホストファミリーもマザーも朝早くから仕事だったので、休みの日にはいろんな所へ連れて行ってくれたんだと思います。

一番楽しかったのは、家でみんなでご飯を食べたことです。家族そろって食べたのは2回しかないけど、手伝いをして普通の家族のように接してくれたのがすくくうれしかったです。マザーが作ってくれたホットケーキはすくくおいしくて気に入りました。

ステイ中は毎日があつという間に過ぎていつ、小さいことでも私にとっては大発見なことばかりでした。ホストの気遣ってくれる態度や、言葉一つ一つが心を温かくして行ってくれました。本当にハース家にステ



イできてよかったです。

帰りの飛行機の中でかばんを開けたら、カードが入っていました。そこには、「あなたとたっさんの思い出が作れました」とか「とても楽しかった」と書いてありました。最後に「私たちが家族」と書いてあって、それを見た時、涙が出そうになりました。その感動は忘れられることはありません。私も本当の家族と思っています。「ありがとう」って心から言いたいです。本当にありがとう。

高梁北中学校3年 木口 麻衣

トロイにホームステイしてたくさん素晴らしい思い出ができました。英語が上手に話せるか、仲良くしていけるのかと、とても不安な気持ちでいっぱいでした。でも、その気持ちはホストファミリーが私にくれた笑顔でほとんどなくなり、積極的に英語を話しているという気持ちに変わりました。

お土産に持っていったはしの使い方を教えてあげたり、折り紙で鶴を折ったりしました。ホストファミリーはけん玉に夢中になっていて、何度も練習していました。成功すると大声で喜んでいて本当に嬉しかったです。最終日には、家族全員ができるようになっていました。そして、万華鏡をみんなで作りました。自分でもよく分かっている説明を真剣に聞いてくれました。そんな時も笑って通じていました。言葉はあまり通じていなかったけど本当に楽しかったです。

野球、ゴルフ、牧場、マクドナル



ド、スパーなどいろいろな場所に連れて行ってもらいました。ホストファミリーは野球が観たいという私の願いをすぐに叶えてくれました。この日はとても運がよくて、ファミリーボールを選手にもらうことができました。

ホームステイした7日間は、あっという間に過ぎていきました。ホストファミリーは、いつも笑っていていました。その笑顔があったからこそ、私はすばらしい体験ができたのだと思います。いつか必ず、私のもう一つの家族と再会しようと思えます。大きなチャンスを与えてくれた全ての人たちに感謝し、この体験を私の将来に生かしていこうと思います。

高梁北中学校2年 小林 史奈子

昨年ホームステイに来てくれたケイトとトロイで再会できた時は、思わず涙が出そうになるほど嬉しかったです。ケイトは初めてあった時と変わらずニコニコしていて、私も自然と笑顔になっていました。

トロイでのもう一つの家族はとも明るく、いつも気軽に話しかけてくれて、まるで本当の家族のように

接してくれ、私の下手な英語にも熱心に耳をかたむけてくれました。いつも笑顔のケイト、ゲームが好きなお父さん、明るいお母さん、乗馬が得意なトローラ、人なつこい犬のロー



ガンとサリー。私にとって最高の、一生忘れられないホストファミリーです。そんなホストファミリーと作られた皆さんの思い出は、どれを思い出しても楽しいものばかりです。

しかし、時には自分の言いたいことが伝わらなかつたり、相手の伝えたいことが理解できないこともありました。それでも、相手の温かい気持ちに触れることができて本当に良かったと思います。

別れる時に、感謝の気持ちはいっぱいなのにうまく言葉にできなくて、それがひどくもどかしかったです。だからこそ「ありがとう」の一言に精一杯気持ちを込めました。これからも交流を深め、またあの家族に会いに行こうと思います。

成羽中学校2年 大福 祐樹

今回のトロイ派遣でいろいろな体験や経験ができました。

ホストファミリーの人たちは、明るく優しかったので声もかけやすかったです。

レイモンドに質問しても2日間ぐらいいは「WHAT」とばかり言われました。しかもレイモンドが質問してくれているのに、全然聞き取れずに答えられませんでした。

一緒にバスケットボールをした時に、すごいことに気づきました。遠距離からのシュートがきまるのでびつくりしました。僕もやってみただけでゴールまで届きませんでした。僕よりも2歳も年下なのにすごいなあと思いました。

トロイと高梁は違う点がいっぱいありました。1つは夜の9時くらいまで明るいということで8時からお父さんとレイモンドとでフットボールの練習をしたりいろいろなことをしました。

言葉が通じなくても大丈夫です。通じなくても心が通じ合うからです。単語だけでも理解してくれました。

僕には、もう一つの家族ができました。こんなにうれしいことはないくらい素晴らしいものができて本当に良かったです。いつの日か、またトロイ



へ行って会いたいと思っています。ホストファミリーはみんな、僕の「一生の家族」です。

川上中学校3年 武田 麻里奈

この事業に参加した第一の理由は、ただただ「アメリカ」に行きたいというものでした。

私と一緒に参加した人の中には、ホームステイがしてみたいとか、異文化に触れてみたいとか、明確な理由を持っていく人がたくさんいました。しかし私は「アメリカ」という憧れの地に行けるということだけでこの事業に参加したといつても過言ではありません。

現地時間の8月3日、シカゴ国際空港に着きました。「いよいよアメリカ」に来たんだなあ」と感じました。そこから飛行機でデイトン空港という地方空港へ飛びました。デイトン空港に着いて、まず、びっくりしたことは外の明るさです。もう夜の9時が近いというのに、日本の5時が6時くらいの明るさでした。

空港のロビーでトロイ市の方々が私たちを出迎えてくださいました。そして車でトロイ市へ行きました。初めてホストファミリーの方とお会いしました。ホスト生徒の子は笑顔がとて素敵で、すぐにクッキーや飲み物を取りに行ってくれました。お母さんもお父さんもお兄さんもとて優れそうな感じがしました。家に着くとすぐに私が7日間住む家の中を案内してくださいました。そして私の部屋にも連れて行ってくださいました。家は、日本の私の家



とは比べものにならないくらいとても大きくて綺麗でした。

最初の頃は何を話すにも辞書が手放せない状態でした。しかし、日に日に短い言葉なら辞書なしでも伝えられるようになっていきました。相手の言っていることも最初は分からないことが多かったけど、だんだんと分かるようになってきました。

「アメリカ」はいろいろなものが大きかったです。コップやジュース、アイスクリームなど本当に大きかったです。私は思わずホストファミリーの方に「オンリービック(すべてが大きい)」と言ってしまっぐらいでした。

「アメリカ」で過ごした10日間は本当にあっという間に過ぎていきました。最初考えていた以上に得るものは大きかったです。日本で抱えていた不安もいつの間にか消え去ってしまいました。

私はまた必ず「アメリカ」に行きたいです。そして今回できなかったことをやり遂げたいです。今回お世話になった皆さんの方々にお礼を言いたいです。本当にありがとうございました。